

宇都宮市の交通事故の発生状況について

交通事故統計情報は栃木県警察本部交通企画課提供

交通事故発生件数、負傷者数は概数

1 宇都宮市の交通事故発生件数、死者数、負傷者数の推移

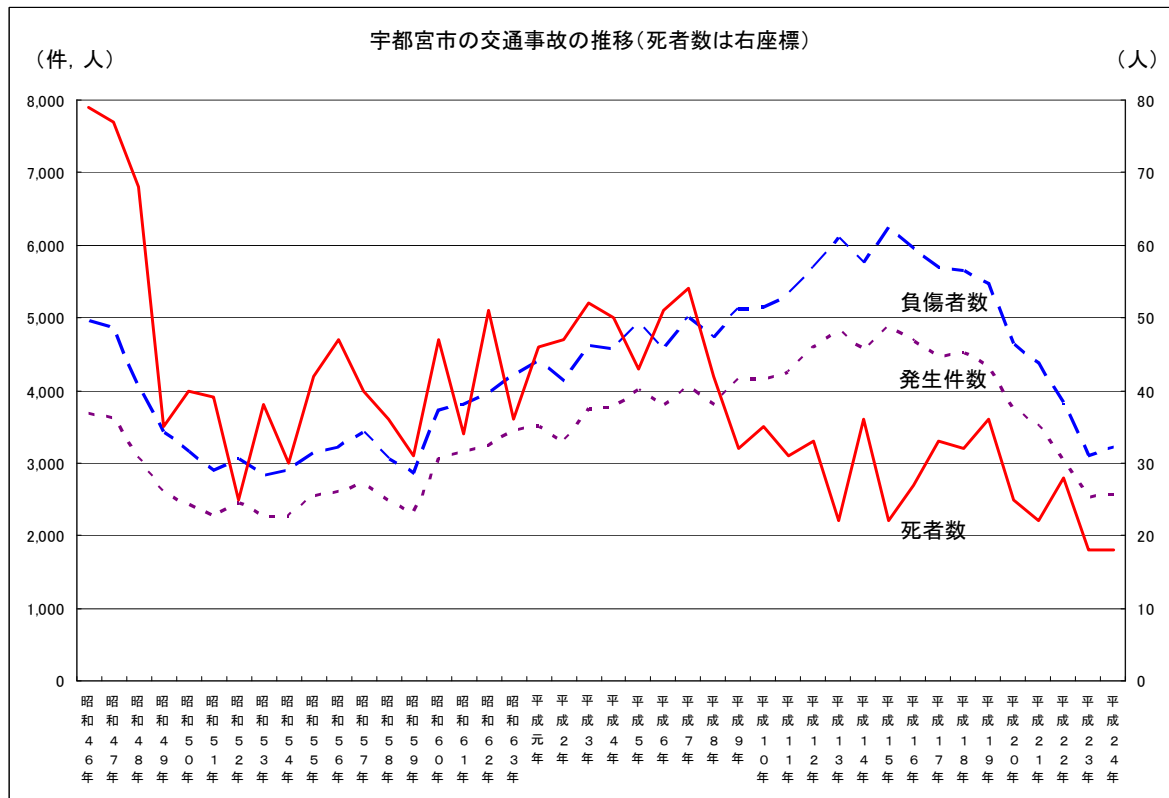
特徴：国、県の交通事故発生件数、死者数、負傷者が減少しているなかで、本市の交通事故発生件数、負傷者数は増加した。

- ① 月別の発生件数は、1月から4月まで減少傾向で推移してきたが、その後7月を除き増加に転じた。
- ② 事故類型別では、車同士が90%を占めている。
- ③ 年齢別に見ると40歳から49歳、65歳以上の増加が目立った。
- ④ 死者数は、65歳以上の高齢者が他の世代と比較して突出して多い状況となっている。
- ⑤ 自転車の交通事故が増加した。

(1) 過去5年間の推移

項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
交通事故発生件数	3,748件 (▲584件)	3,503件 (▲245件)	3,043件 (▲460件)	2,535件 (▲508件)	2,576件 (4件)
交通事故死者数	25人 (▲11人)	22人 (▲3人)	28人 (6人)	18人 (▲10人)	18人 (0人)
交通事故負傷者数	4,647人 (▲814人)	4,371人 (▲276人)	3,831人 (▲540人)	3,102人 (▲729人)	3,225人 (▲123人)

注) 下段 () は対前年増減数



ア 発生件数

過去最多4,887件(H15)の約半数

イ 死者数

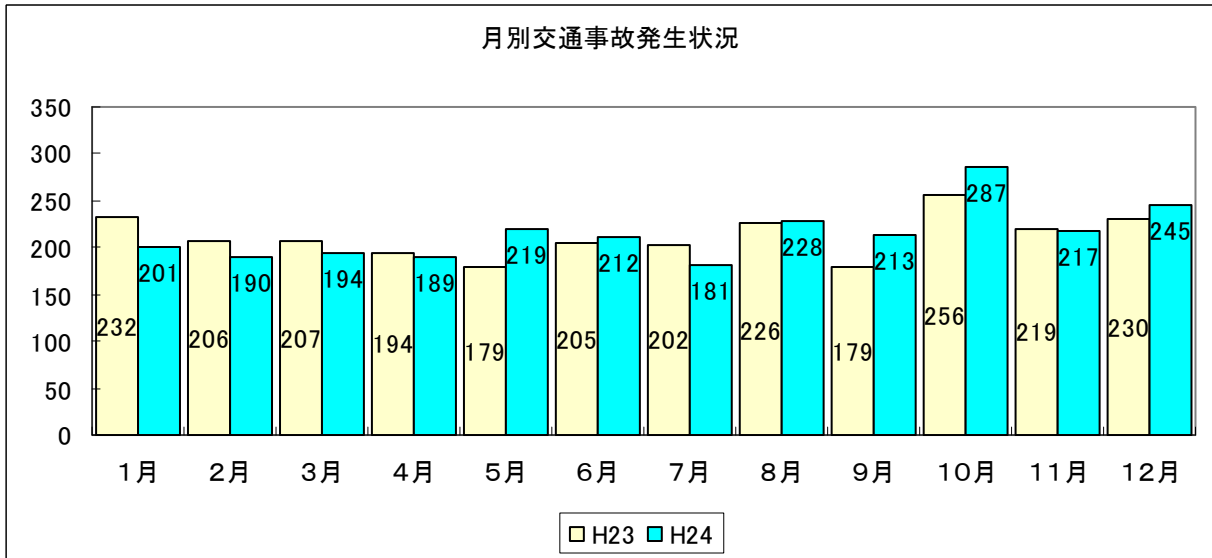
過去最多79人(S46)の4分の1以下、過去最小値(S46~)

ウ 負傷者数

過去最多6,236人(H15)の約半数

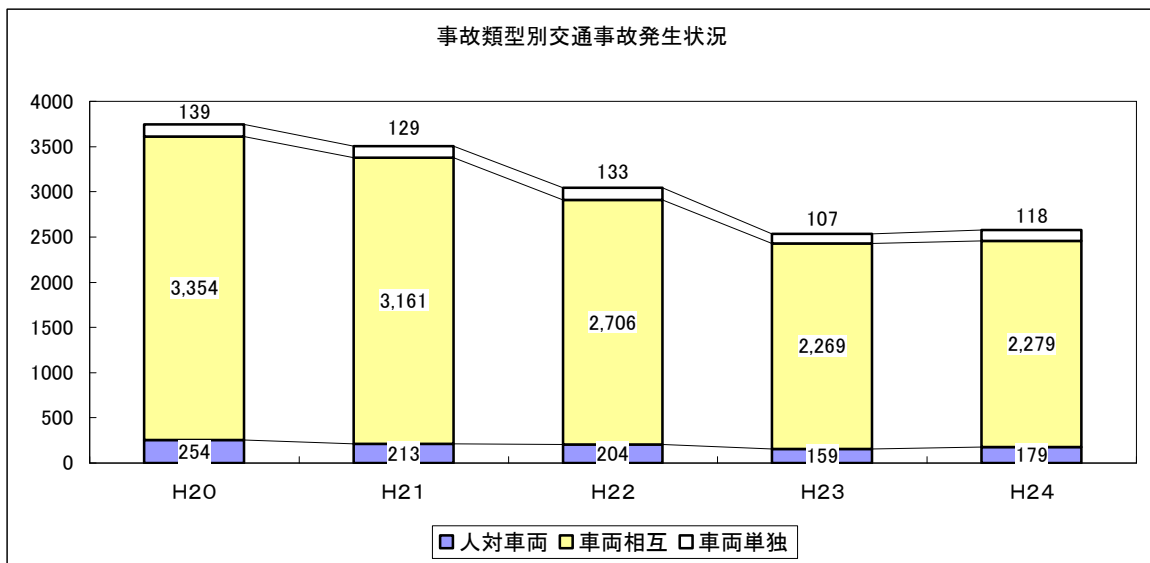
(2) 月別交通事故発生状況

1月から4月までは減少したが、その後は7月11月を除き増加した。



(3) 事故類型別交通事故発生状況

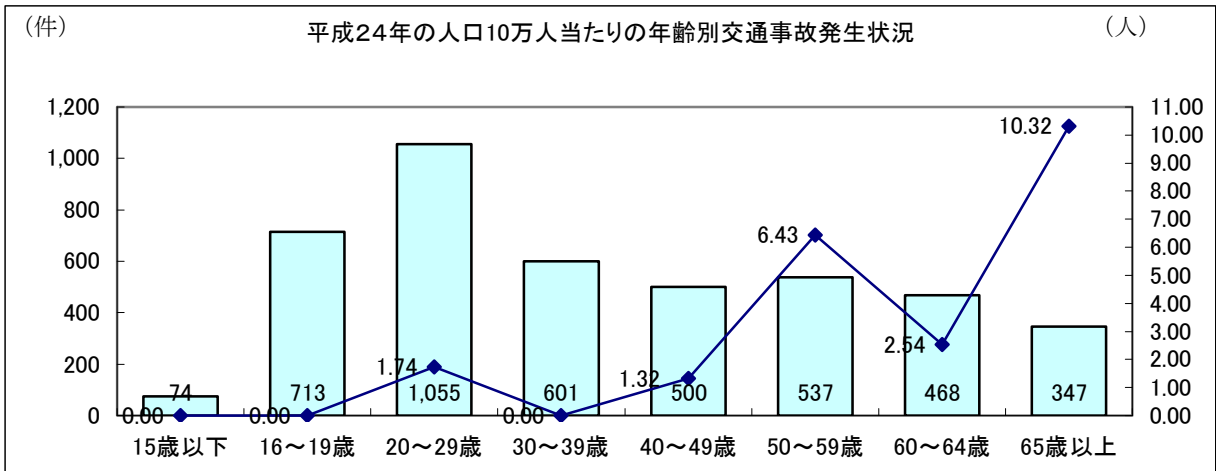
交通事故の約90%が「車両相互」である。そのうち「追突」「出会い頭」が74.2%を占めている。



(4) 人口当たりの年齢別交通事故発生件数

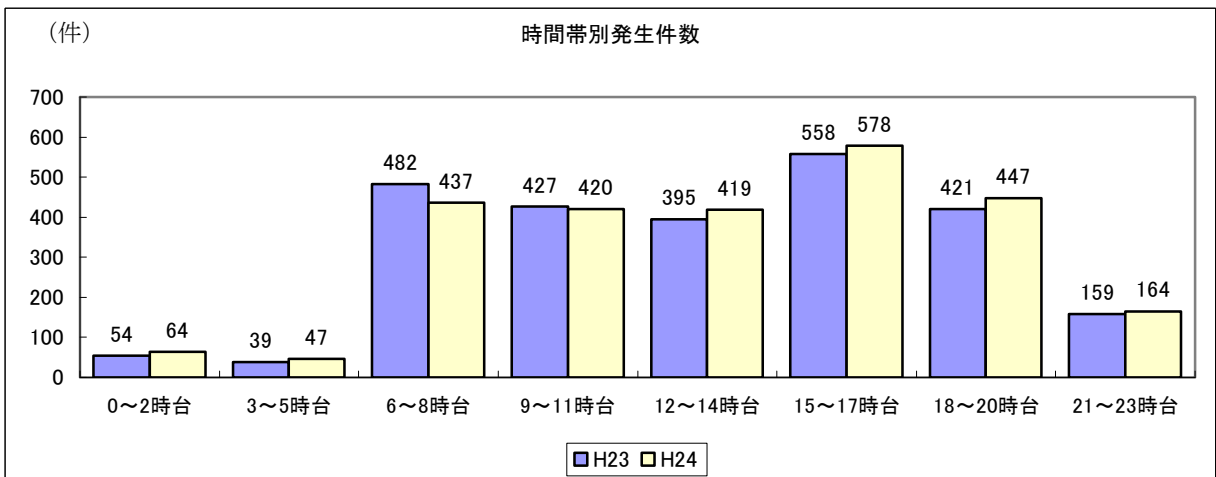
人口10万人当たりの発生件数は、20歳代が最も多い。(人口構成比は11.1%)

人口10万人当たりの死者数は、高齢者が10.32人と突出して高い。



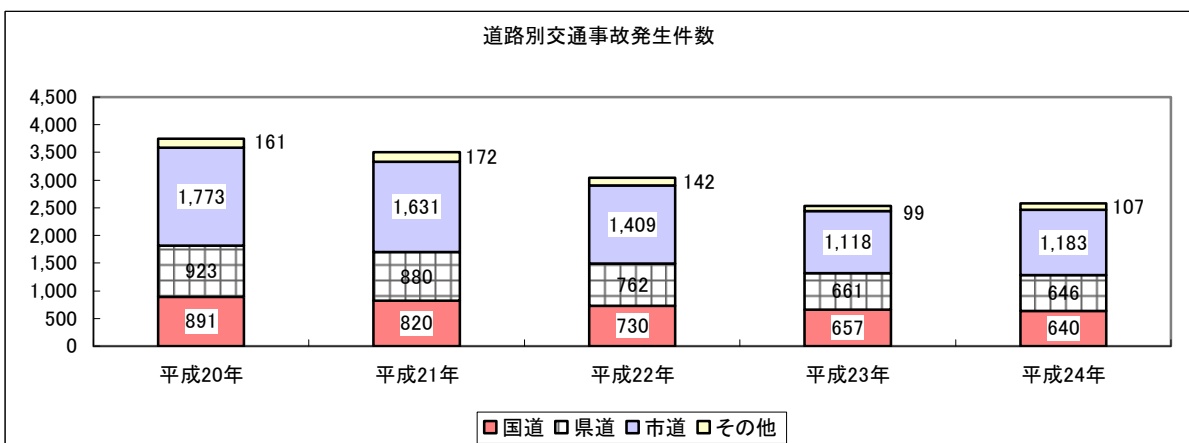
(5) 時間帯別交通事故発生状況

事故の大半が日中(6～17時)に発生している。特に15～17時は最も多い。



(6) 道路別交通事故発生件数の推移

道路延長が膨大な市道での交通事故が多くを占め、国道、県道での交通事故が減少しているなかで市道は増加した。

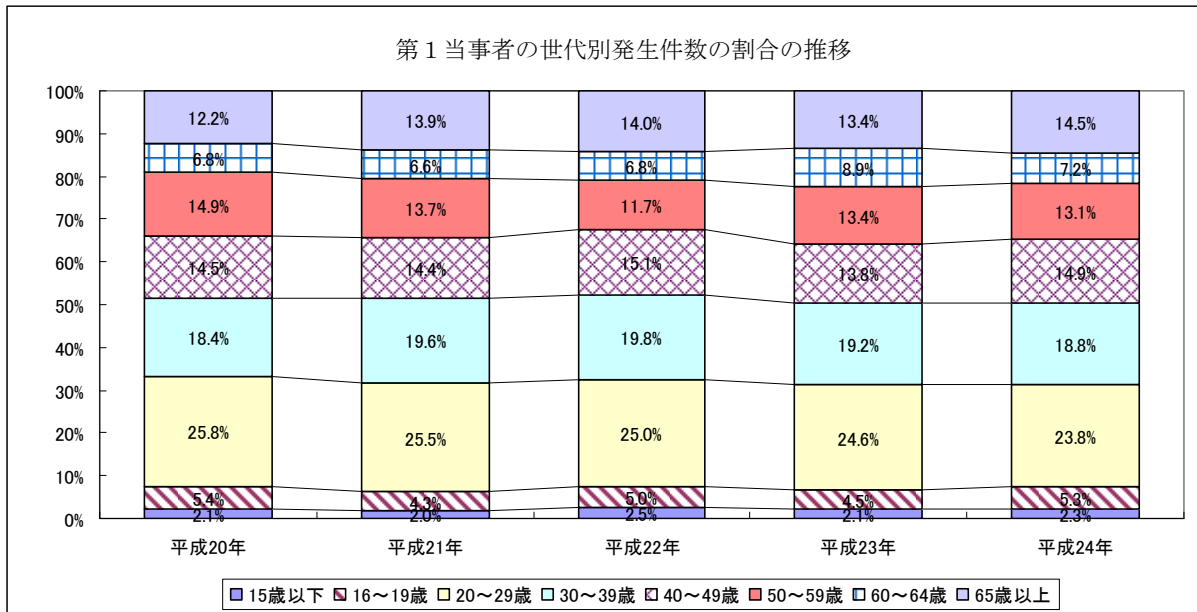


2 世代別交通事故発生状況

人口約10%の20歳代が、本市の交通事故の4分の1を占めている。

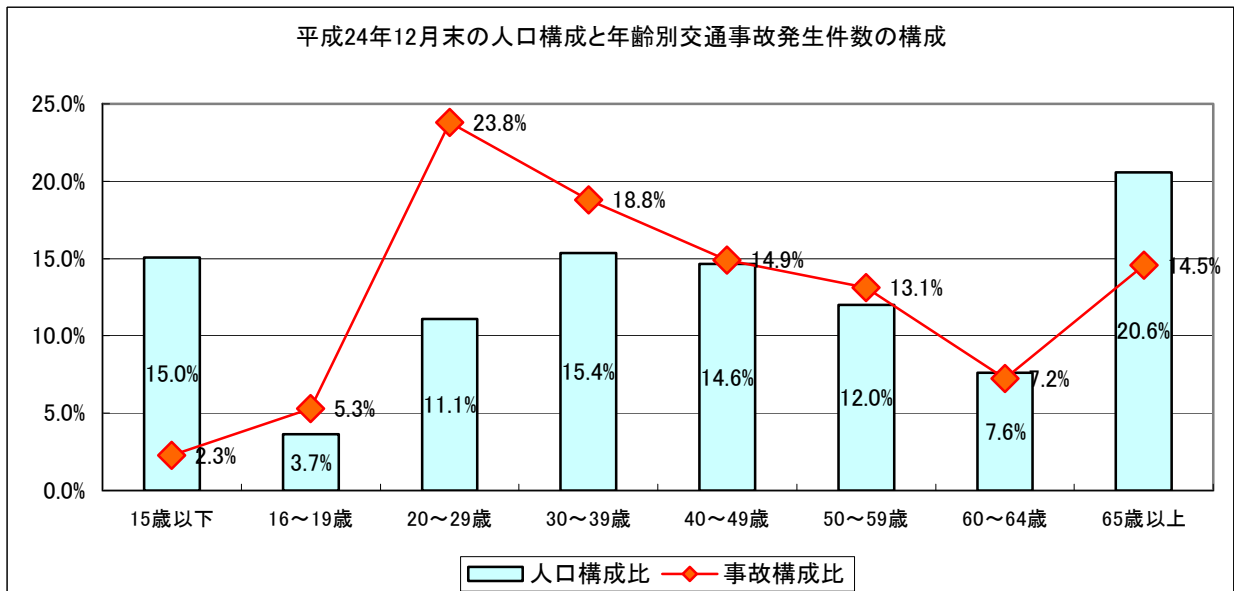
(1) 第1当事者の世代別発生件数の割合の推移

15歳以下，16～19歳，40～49歳，65歳～の年齢層で増加した。



(2) 平成23年中の人口構成と年齢別の交通事故件数の構成

若年者（20～29歳）の交通事故が最も多い。



(3) 第1当事者の年齢層別・状態別発生件数

区 分		15歳以下	16歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	全体に占める構成比	
自動車乗車中	平成24年	件数	0	86	577	465	353	315	170	312	2,278	89.6
		構成比	0.0	3.8	25.3	20.4	15.5	13.8	7.5	13.7	100.0	
	平成23年	件数	0	83	596	466	330	317	211	280	2,283	91.3
		構成比	0.0	3.6	26.1	20.4	14.5	13.9	9.2	12.3	100.0	
	増減数(件数)		0	3	▲19	▲1	23	▲2	▲41	32	▲5	
増減率(件数)		-	3.6	▲3.2	▲0.2	7.0	▲0.6	▲19.4	11.4	▲0.2		
自動二輪車乗車中	平成24年	件数	0	1	2	4	3	2	0	0	12	0.5
		構成比	0.0	8.3	16.7	33.3	25.0	16.7	0.0	0.0	100.0	
	平成23年	件数	0	1	3	1	0	0	2	1	8	0.3
		構成比	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	100.0	
	増減数(件数)		0	0	▲1	3	3	2	▲2	▲1	4	
増減率(件数)		-	0.0	▲33.3	300.0	皆増	-	▲100.0	▲100.0	50.0		
原付自転車乗車中	平成24年	件数	0	10	7	3	5	5	1	3	34	1.3
		構成比	0.0	29.4	20.6	8.8	14.7	14.7	2.9	8.8	100.0	
	平成23年	件数	0	4	7	8	3	3	1	6	32	1.3
		構成比	0.0	12.5	21.9	25.0	9.4	9.4	3.1	18.8	100.0	
	増減数(件数)		0	6	0	▲5	2	2	0	▲3	2	
増減率(件数)		-	150.0	0.0	▲62.5	66.7	66.7	-	▲50.0	6.3		
自転車乗車中	平成24年	件数	51	37	15	6	16	11	11	53	200	7.9
		構成比	25.5	18.5	7.5	3.0	8.0	5.5	5.5	26.5	100.0	
	平成23年	件数	44	24	9	4	10	14	6	41	152	6.1
		構成比	28.9	15.8	5.9	2.6	6.6	9.2	3.9	27.0	100.0	
	増減数(件数)		7	13	6	2	6	▲3	5	12	48	
増減率(件数)		15.9	54.2	66.7	50.0	60.0	▲21.4	83.3	29.3	31.6		
歩行中	平成24年	件数	7	1	4	0	2	1	2	2	19	0.7
		構成比	36.8	5.3	21.1	0.0	10.5	5.3	10.5	10.5	100.0	
	平成23年	件数	9	0	0	2	2	1	3	8	25	1.0
		構成比	36.0	0.0	0.0	8.0	8.0	4.0	12.0	32.0	100.0	
	増減数(件数)		▲2	1	4	▲2	0	0	▲1	▲6	▲6	
増減率(件数)		▲22.2	皆増	皆増	▲100.0	-	-	▲33.3	▲75.0	▲24.0		
合 計	平成24年	件数	58	135	605	478	379	334	184	370	2,543	100.0
		構成比	2.3	5.3	23.8	18.8	14.9	13.1	7.2	14.5	100.0	
	平成23年	件数	53	112	615	481	345	335	223	336	2,500	100.0
		構成比	2.1	4.5	24.6	19.2	13.8	13.4	8.9	13.4	100.0	
	増減数(件数)		5	23	▲10	▲3	34	▲1	▲39	34	43	
増減率(件数)		9.4	20.5	▲1.6	▲0.6	9.9	▲0.3	▲17.5	10.1	1.7		
H24.12.31 現在人口		人数	77,902	18,925	57,371	79,560	75,803	62,223	39,352	106,570	517,706	
		構成比	15.0	3.7	11.1	15.4	14.6	12.0	7.6	20.6	100.0	

単位：件，%

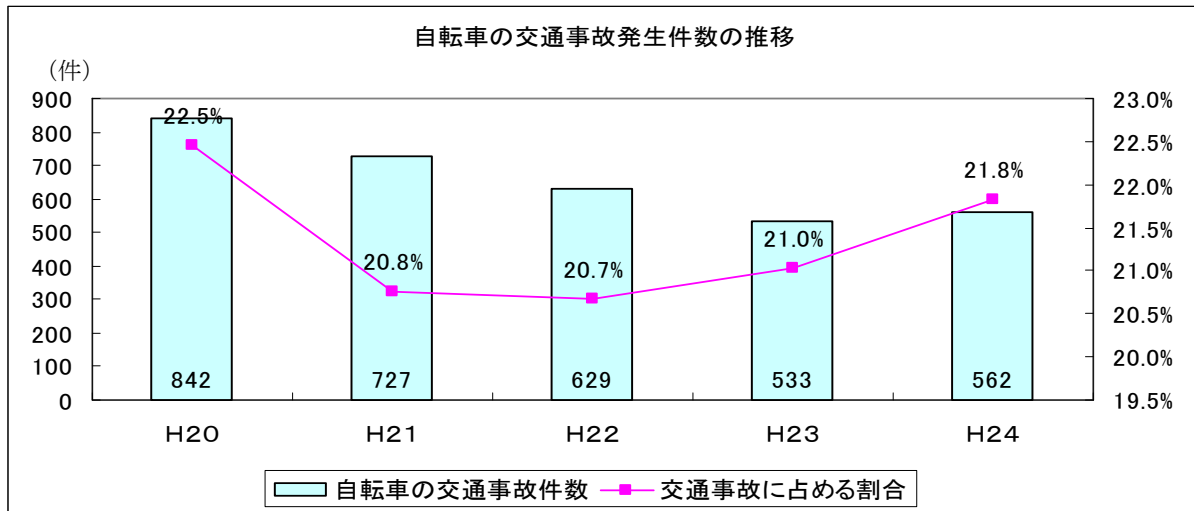
注) 第1当事者：交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失同等の場合は被害がより軽い者をいう。

注) 第1当事者が不明なものは計上していない。(参考:第1当事者不明 平成23年35件,平成22年30件)

3 自転車の交通事故

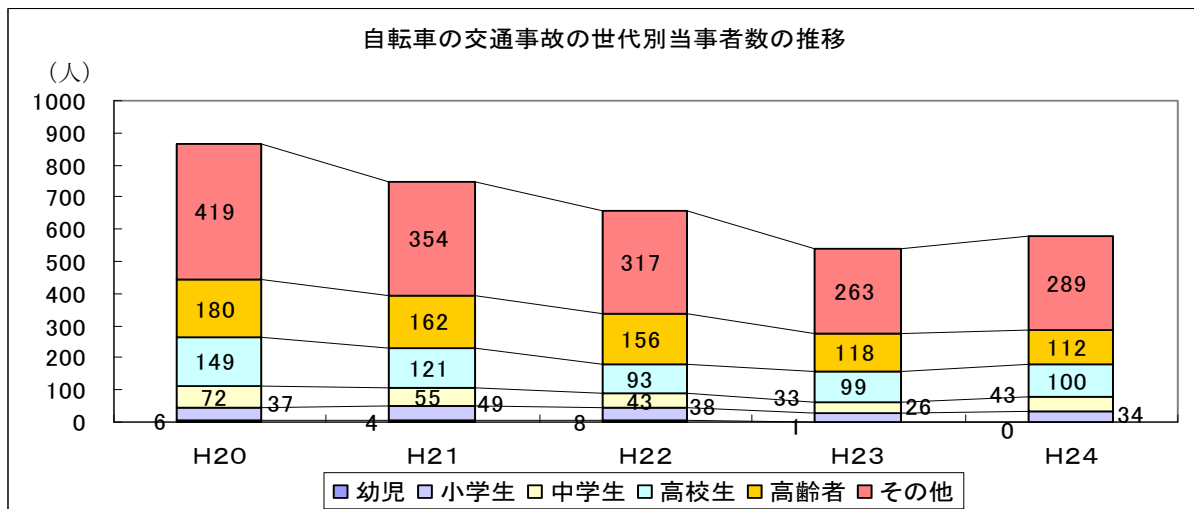
(1) 発生件数の推移・全体に占める割合の推移

発生件数及び交通事故に占める自転車の事故の割合が増加した。



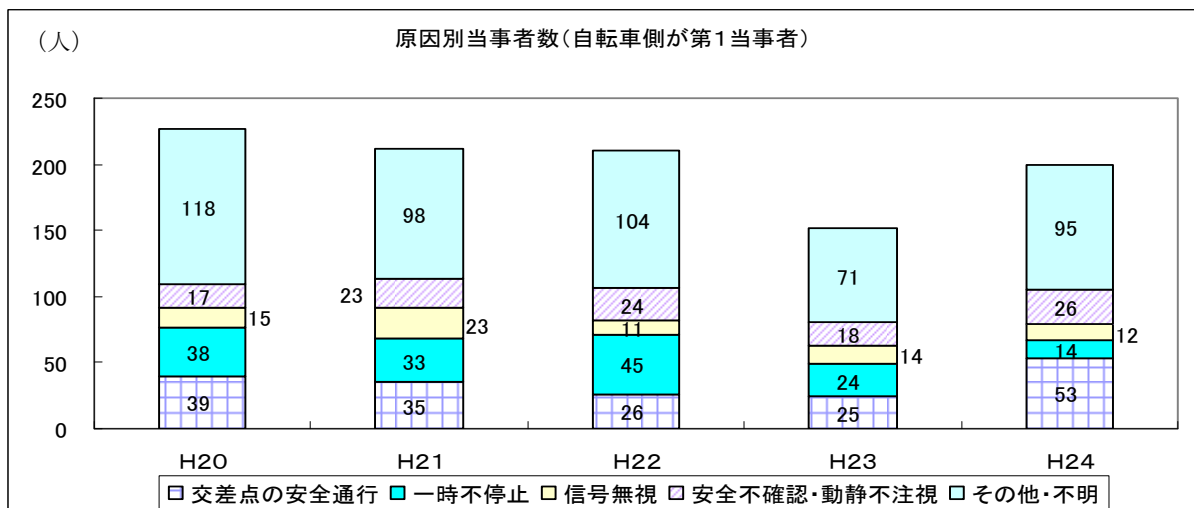
(2) 世代別当事者数の推移

H24年では、高齢者と幼児が減少した。



(3) 事故原因別当事者数（自転車側が第1当事者）

交差点の安全通行違反が増加した。※その他不明：ハンドル操作の誤り、前方不注意など

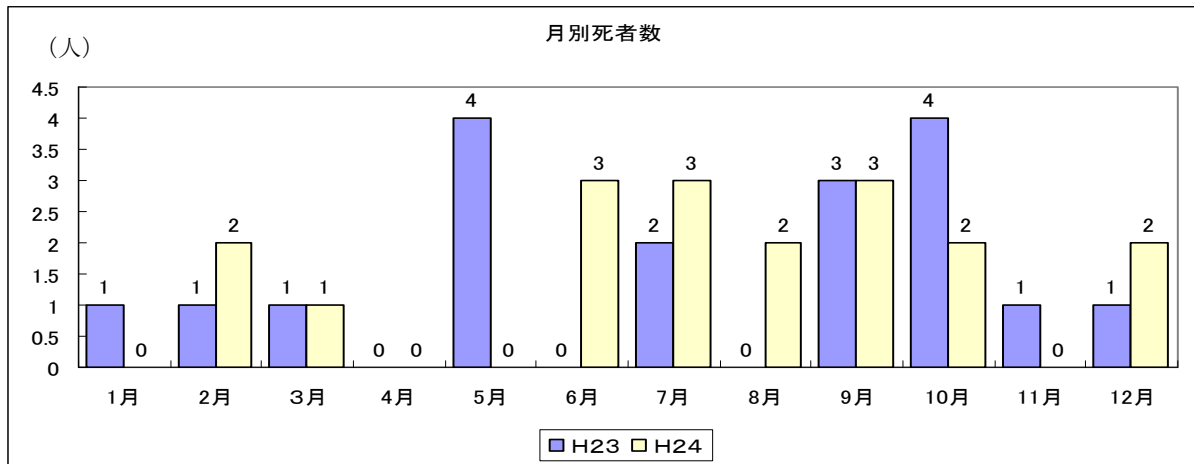


4 死亡事故

人口比率20%の高齢者が、交通事故死者数の61%をしめており、その大半が自転車乗車中に事故に遭っている。

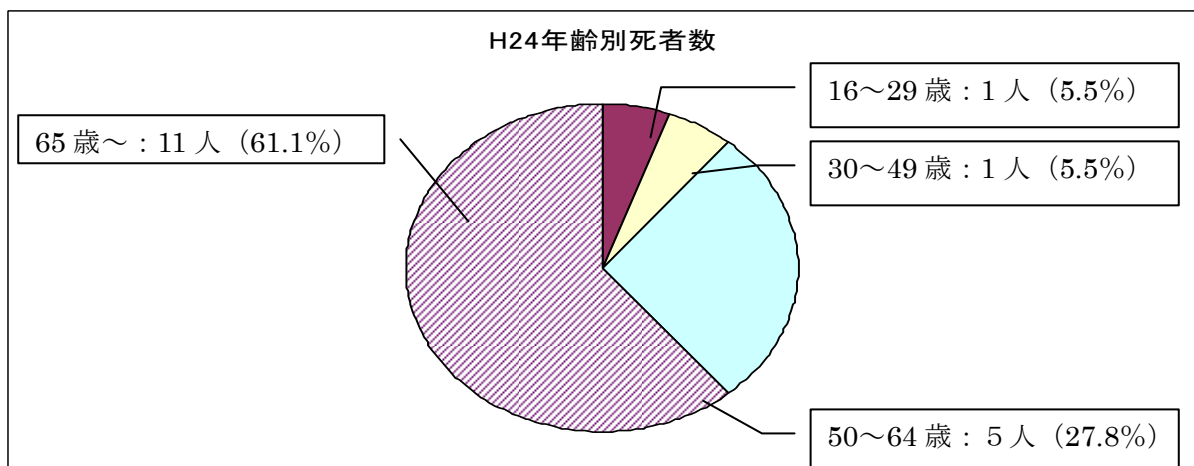
(1) 月別交通事故死者数

6月～9月が最も多い。



(2) 平成23年の年齢別交通事故死者数

死者数の半数以上を高齢者が占めている。



(3) 平成23年の死亡事故の類型別割合

車両相互の交通事故で半数（9人）が死亡しており、そのうち7人が自転車乗車中の高齢者である。

